

字、

〔書言字考節用集六生植〕草烏頭一 鴛鴦菊同 草烏頭トク根有大毒、多識編、蝦夷、鴛鴦菊同又云土 烏頭ウ附子ヅ

〔倭訓栞中編十六〕とりかぶと○中 草にいふは其花の似たるより名とす、僧鞋菊名の如し、かぶ

と菊ともいへり、草烏頭也、花に紫白あり、花蔓は蔓生の同種なるべし、

〔和漢三才圖會九十五〕草烏頭○中

按草烏頭利俗呼名止葉似菊葉而厚、八九月開花淺紫色、形似伶人所著烏冠故名之、又有白花者、其根

乃草烏頭也、用殺頭蝨瘡、外科用之、和州金剛山之産良、若州江州次之、今人家種之賞花、

〔物類品隲三〕附子 其母ハ川烏頭ナリ、○中 蝦夷産、享保中、阿部將翁奉台命至蝦夷、是ヲ得タリト

云己卯主品中予源内平賀具之、

鳥頭 卽草烏頭ナリ、和名トリカブト、又カブトギクト云所在ニ多シ、花深碧色又白花ノモノ、淡

紫花ノモノアリ、一種蔓生ノモノアリ、和名ハナヅルト云箱根産葉小ニシテ花又多シ、

〔重修本草綱目啓蒙十三〕附子 伊○フ○ス○和名 ヲウ○古歌 トリ○カブト カブト○ギク カブト○バ

ナ○ブス○佐州 蒲○シ○ド○ケ○南部 一名回陽赤水 正坐丹砂輟耕 九頂公本草 花一名雙

鸞菊秘傳 鸚哥菊同上 僧鞋菊汝南 西番蓮同上 川烏一名昌明童子輟耕

附子ハ漢渡多クアリ、皆鹽ニ漬シ製スル者故ニ、水ニ浸シ鹽ヲ去リ用ユベシ、切テ内白色ナルヲ

撰ビ用ユ、色黒キ者多シ、腐タルナリ、用ユルニ堪ヘズ、○中トリカブトハ人家ニ多ク栽テ花ヲ賞

ス、苗高サ四五尺、葉互生ス、形莞蔚スジキノ脚葉ニ似テ厚ク、深綠色光リアリ、秋ニ至テ莖梢ニ花アリ、穗

ヲナス、形伶人ノ烏冠ニ似タリ、深碧色又淡紫色白色アリ、白花ノ者ハ莖弱クシテ藤蔓ノ如シ、種

樹家ニテハナカヅラ又ハナヅルト云フ、唐種ハ種樹家ニアリ、葉岐淺ク花淡紫色ナリ、奥州南部